



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

エフアジヤパン理事長のイデー
スハンソンさんは新聞に「ああ投票したい」と長文を寄せている。永住許可を持ちながら投票できないシレンマ。「投票に行かない有権者の気が知れない」と。意思表示とは何なのか考える時だ。

朝風

ノーベル賞受賞で日本中が沸いた。とてつもないことを考えるのが好き」と南部さん。とてつもないこと考えるから、色々な発見がありノーベル賞につながるのか。英語は苦手の益川さん、なんだか親しみがあったいいですね。

41 3 第49回大会特集
5 写真・まんが・機関紙コンク
1 審査発表・退任役員
大会事前会議・評議会報告
公務労協東日本集会
09年度道本部執行体制

特集 第49回道本部定期大会

思い伝わる運動めざし

道本部は10月2日、3日の両日、ホールスター札幌で第49回定期大会を開き、向こう1年間の運動方針と新執行体制を決定した。新たに3単組が加盟、2日間約627人(うち、女性67人、10.6%)が参加した。

2008年決算から特別会計などの連結決算による新たな財政指標で自治体財政への締め付けが一層厳しくなる中、組合員の生活や地域自治をどう確立していくのか、課題が山積している。

大会では、2008年度総括、2009年度の運動方針と確定闘争をはじめとした当面の闘争方針などについて、「指導部の思いが伝わる運動」「熱い運動」を望む意見を含めた24人の熱心な質疑が採択し終了した。

大会では、2008年度総括、2009年度の運動方針と確定闘争をはじめとした当面の闘争方針などについて、「指導部の思いが伝わる運動」「熱い運動」を望む意見を含めた24人の熱心な質疑が採択し終了した。

めざせ
女性参画20%
代議員の出席は、346人に対し女性参画率は41人で11.5%。第11次組織強化方針の「男女がともに」になる自治労北海道計画」では2012年1セント以上の女性の参画をめざしている。

道本部ホームページのお知らせ

道本部HPは、新たな試みとして「単組・組合員専用」ページに、組合員の皆さんがコメントを投稿できるようになりました。さらに、「自治研」コーナーを新設、自治研全道集会のレポート集・講演録を掲載しました。今後、「機関紙」も掲載する予定です。

「単組・組合員専用」ページ
■ユーザー名: douhonbu
■パスワード: jh2007



自治労北海道本部第49回定期大会

スローガン

6万2千組合員と市民の協働で、分権・自治の改革を推進し、「自由・公正・連帯」

三浦委員長あいさつ

日頃からのたたかいかいから敬意を表する。
国・道・札幌と、いずれの勧告も月例給・一時金据え置きとなった。持ち家手当は廃止に向けた方向性が出された。今確定等の衆議院選挙と一体となったたたかいをしていく。



自治研全国集会は、全国19人の組織内候補の解散総選挙に傾注するため、4月に延期。諸準備にご尽力された仲間のみなさんにお詫びを申し上げる。民主党政権下で開催しよう。
自治体財政問題は、財政健全化法により国の関与が強められている。労組がどこまで財政問題に踏み込んでいくかが課題だ。
地域医療の個人署名等みなさんのご協力のもと、道に申し入れしてきた。道民の生活を守るためにも、新しい政治を始めるときが来た。全組合員の総力をあげてたたかおう。

国政報告

政権交代全力で



逢坂誠二衆議院議員

麻生政権は政局を無視して予算審議を強行している。政治的空白と云うが、既に2人の総理が空白にしている。今の政権では同じ状態だ。小泉政権から自治体は大変な状況が続いている。制度がおかしいと思っても従順に仕事をさせられていく。今、政権交代を皆様と力強く推し進めたい。決意。



峰崎直樹参議院議員

自民党はもはや政権政党の資格は無い。早急に解散を求め、同時に国会で問題点を明らかにしていく。市場原理万能の小泉・竹中の政治は問題だったと国民も気づいている。厳しいたたかいかいが高社会づくりのため、全力を尽くしてたたかう決意。

仲野博子衆議院議員と、相原久美子参議院議員は、別の用務のため欠席。秘書が出席しました。

確定闘争 スケジュール

- 2008年10月
- 14日(火) 道本部・地本合同単組オルグ(～31日)
 - 27日(月) 要求書一斉提出
- 2008年11月
- 7日(金) 組合旗掲揚(闘争集結まで)
 - 5日(水) 回答日
 - 10日(月) 重点交渉期間(～18日)
 - 13日(木) 腕章着用(闘争集結まで)
 - 17日(月) 超勤拒否(～18日)
 - 18日(火) 道本部統一行動日

第20回 労文協 リレー講座

- 期 間 2008年10月～2009年3月
- 時 間 18:00～20:00(講演1時間30分他質疑応答)
- 会 場 北海道自治労会館(札幌市北区北6条西7丁目)東向き
- 参加整理券 6回通し券2,000円・当日受講500円
- 申 込 先 労文協または自治労会館事務局
- 主 催 北海道労働文化協会/札幌市中央区北4条西12丁目ほくろビル(☎011-261-0020)
北海道自治労会館/札幌市北区北6条西7丁目(☎011-747-1457)

～テーマと講師～

- 1回目 10月15日(水) 工藤 正廣 (北海道大学名誉教授・ロシア文学) (終了) バステルナーク評伝
- 2回目 11月19日(水) 森山軍治郎 (専修大学北海道短期大学教授) 秩父事件死刑囚一井上伝蔵の生涯
- 3回目 12月17日(水) 神谷 忠孝 (北海道文教大学教授) 文学としての小林多喜二
- 4回目 1月21日(水) 田中 綾 (北海学園大学准教授・短歌評論) 寺山修司未発表歌集『月蝕書簡』を読む
- 5回目 2月18日(水) 由田 宏一 (元北海道大学北方生物園フィールド科学研究センター教授) 小豆万華鏡一ひとの作物に思いを馳せて一
- 6回目 3月18日(水) 山本 司 (短歌評論家) 坪野哲久と現代短歌について

「プルサーマル計画」許さないカンパ

泊原発3号機での「プルサーマル計画」を許さないために新聞意見広告にカンパしませんか?(11月10日まで)
■11月下旬北海道新聞に掲載を想定 目標額350万円以上
個人1口:1,000円
団体1口:3,000円
くわしくは道本部HP(単組・組合員専用の10月20日)で!

道本部の熱い思いと運動求める

方針への発言



川島さん(室蘭市職労)

臨時・非常勤等の組織の重要性を感じた。自治体の財政健全化が低賃金労働者の犠牲の上に成り立っている。賃金施策が必要、どこまで進んでいくのか。ラス・パイレース指数が年々引き下がっている。中央段階での早急な対策を強く要請する。

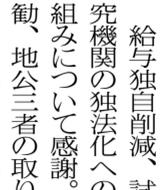


木村さん(全道庁労連本部)

手当は支給されない。そんな中、相原久美子さんが私たちの代表として国会で活躍している。待遇改善を今後も強く求めていく。



給与独自削減、試験研究機関の独法化への取り組みについて感謝。道人勸、地公三者の取り組みをしっかりとたかろう。



東さん(札幌市労)

現在、小中学校で働く非常勤職員は増加の一途。学校職場を取り巻く環境は厳しく、正職員と同じ業務を担っている。しかし退職金を含めた諸



玉置さん(足寄町職)

道本部の思いが単組執行部や組合員に充分伝わらず、組織としての一体感が希薄、何が不足か真剣に考え、行動してほしい。地域医療署名、道本部が組合員と真剣に向き合う運動が必要。全道自治労研集会は基調提起など丁寧な取り組み必要。G8サミットの労組として



崎廣さん(平取町職)

地域医療に全力で取組む決議をし、街頭署名などで、人口の1/4集まった。地域労働者の生活を守るため住民と共通認識に立った取り組みを展開した。自分は通勤災害について組合に助けられた、身近な組合員に関心をもち、組織で問題解決して、組合の必要性と意義を再確認していきたい。



小尾代議員(占冠村職)

の取り組み少ない。原油高騰は、自治労として連合にどう意見反映してきているのか。道本部のHPで情報を確認できている。



坂本さん(留萌市労連)

た。「集まる場」で声を拾い上げ、次の運動につなげていきたい。基本組織で、継続的な新採に向けての取り組みと、青年部との意見交換の場を増やし、活動に専念できる体制づくりに配慮を願う。



湊さん(網走市労連)

り、住民の切実な思いが解った。労安は労組の基本だが労使ともに認識が低い。7月に学習会開催、分科会でも議論した。



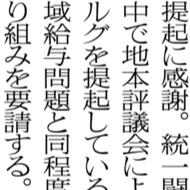
赤坂さん(松前町職)

い。指定管理者制度で、現場は苦勞している。理事者はよく理解していない。道本部からの強力なリーダーシップが必要。



近藤さん(室蘭市職)

では進まない。もっと単組で議論を行うべき。



平野さん(札幌市職連)

賃金センサスの丁寧な提起に感謝。統一闘争の中で地本評議会によるオクルグを提起している。地域給与問題と同程度の取り組みを要請する。労働者集会で民間労組に参加を呼びかけた。質の高い公共サービスの確立に向けて連携を強く取組む。



宮崎さん(森町職労)

プルトニウムを裁断した刃を海水で洗っているという事実がある。函館方面の地域と産業は破壊される。原子力政策に対する運動するならば、数値・科学的根拠を示すべき。



山田さん(鷹栖町職)

民主党の、財源確保で人件費20%削減は、人勸に準拠してきた単組は制度が壊れると影響が大きい。定年延長について、情報提供を願う。長期共済は、今後大丈夫か。中山国交相の、労組批判に對して抗議したのか、行うよう要請する。



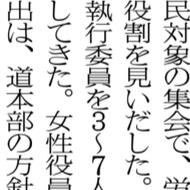
岡村さん(十勝地本)

地域医療は、公立病院8町を重点に近隣単組にも呼びかけた。家庭を回



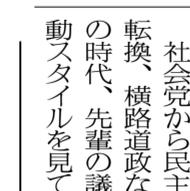
顧問団 富山顧問

協約締結権が付与されるとう変わるのか。公務員制度改革・協約締結権を意識した組織強化方針が必要。執行委員会・大会が開催できない単組に道本部はどう強化していくのか、道本部の熱い思いと運動を求める。



山田副委員長

町長選は新たな候補擁立で様々な議論し労組としてよい機会となった。地域医療の取り組みは住民対象の集会で、労組の役割を見いだした。女性執行委員を3〜7人増やしてきた。女性役員の選出は、道本部の方針だけ



小沼さん(網走市労連員)

社会党から民主党への転換、横路道政など激動の時代、先輩の議論・運動スタイルを見て勉強し



諸橋さん(苫小牧市職労)

道当局から特例債を借りるために様々な不当要求をされている。背景は総人件費抑制攻撃。労使交渉を進める可能性がある、当局と話し合える体制を作ることが必要だ。

男女産別統一要求、具体的な目標提示していく。生活実態からの議論必要。次世代を担う青年部作りをお願いする。衛医評は2010年に社福評

と合わせ1人になる。運動の低下招かないようにする。人材確保の取り組みを進める。そのためにも政権交代が必要。公正労働基準の取り組み、情報発信して全体の取り組みをはかる。公共サービス基本法制定、組織内国会議員との連携をすすめる。現業公企大型はがき行動の取り組みをお願いする。賃金労働条件の向

上、臨時非常勤の仲間と連携し取り組み組織化につなげてほしい。

税の復元を求めていく。公立病院問題は全道庁労連と連携していく。

た。原油高騰、連合を中心にして団体と連携し取組んできた。ホームページをさらに充実し、丁寧な運動追及する。

札幌市人事委員会勧告は、一時金据え置き連続2年。寒対協の実態ないが取組み検討願う。

中山大臣の問題発言について近く要請する。

本来獲得すべき労働協約権となるよう取り組み。

「勧告内容で重点単組を定め、産別統一闘争の否定にならないか。7市労連の具体的方針と人事評価の取り組みを示してほしい。時間外手当の割り増し60時間以上となつたのは何故か。自治体財政確立の議論時間確保が必要。予算編制期に出すのはいかなものか。要

求書に裁判員制度特別休暇取得を加えるべき。



執行部 答弁する杉谷副委員長

まんが

大人の休日



■もう少笑 「大人の休日」 札幌市職連 中 克尋さん

メタボ



■大笑 「メタボ」 全道庁労連胆振総支部 吉田 裕二さん



■うまいで笑 「ポイ捨て禁止」 名寄市職労 新田 博之さん



瞬間的な撮影すばらしい 第41回を迎える道本部写真コンクールの審査を9月21日に行った。審査委員は、毎年おなじみの写真家・丸山義正さん。今年85歳とは思えないほどくしゃくしゃとして写真を見る。今年24作品の応募がありました。丸山さんは「今年の作品は、どれもすばらしい。びっくりにした。」と述べ「構図がいい、動きがある中で瞬間的な撮影がすばらしい」と講評した。



写真



「親子でソーセージ作り」 全道庁労連十勝総支部 林 幸雄さん



「両手で勝負」 札幌医大労組 村本英美子さん



「青空の向こうは？」 全道庁労連上川総支部 山根 辰弘さん

優秀賞(3点)



「水たまり」

■周りが黒く、人物が白く、引き立っている。シャッターチャンスも非常に良い。撮りたくても撮れない一枚。

全道庁労連留萌総支部 石岡 康彦さん

コンクール審査発表 最優秀賞(1点)



「ハワイの空の下」 江別市職労 鈴木 溪さん



「4号ため池の夏」 美唄市職労 渡辺オレナさん



「我家の露天風呂」 恵庭市職労 斎藤 道夫さん



「夢の中」 恵庭市職労 五東 建夫さん



「朝靄の中」 江別市職労 石川 陽子さん

佳作(5点)



「江別市職労」 江別市職労



「団結ニュース」 帯広市労連

佳作(3点)



「いしかりちほん」 石狩地方本部



「青年部情報」 名寄市職労

優秀賞(2点)



「なかま」 美深町職

最優秀賞(1点)

2008 機関紙



お疲れさまでした 退任役員



道本部大会では、組合員の総力を結集し解散・総選挙で組織内候補者7区仲野博子、8区逢坂誠二をはじめとする全ての小選挙区で、民主党政権の必勝と比例代表での議席増を決めた。

2009道本部大会 事前会議・各評議会報告

現業公正評議会

賃金労働条件は労使合意事項

集中改革プランの策定以降、各自活動の強化が急務だ。自治体における合理化攻撃は厳しさを増し、新規不採用に伴う欠員の慢性化と臨時・非常勤などの増加、民間の委託化が一層強められている。また、「任用替え」によるメンタルヘルスの健康被害の報告が多くなっている。労働条件の整備や労働安全衛生の方策を議論している。賃金労働条件は労使合意事項であり一方的な「取組方針」の策定や賃金センサスとの比較公表をさせない取組を基本組織と連携し進めていく。



「取組方針」の策定や賃金センサスとの比較公表をさせない取組を基本組織と連携し進めていく。職場活性化の議論から職の確立に向けて実践を行い、臨時・非常勤等職員や公共サービスを担う仲間の労働条件の底上げと組織化へ向けた取組を推進する。

議 長 湊 修 (網走市労連)
事務局長 千葉 充規 (帯広市労連)

女性部

ワークライフバランスの取組みを進める

男女平等社会実現に向け、女性の力が十分発揮できる体制整備やエンパワーメントをあらゆる運動の目標として取り組みを進めること、また、女性の労働権を確立し、誰もが安心して健康に働き続けられる職場をめざして、ワーク・ライフ・バランスを推進する取組みを進めることとした。



部 長 上島 早苗 (占冠村職)
副部長 薩田早百合 (池田町職)
書記長 吉田 美保 (喜茂別町職)
書記次長 蘇田 友紀 (全道庁労連)
書記次長 鴻上 智子 (遠軽町労連)

社会福祉評議会

福祉人材の確保と地位の向上をめざす

深刻な格差社会の現実のもとで、社会福祉サービスは「普遍性」を指し、新規定採用に伴う欠員の慢性化と臨時・非常勤などの増加、民間の委託化が一層強められている。また、「任用替え」によるメンタルヘルスの健康被害の報告が多くなっている。労働条件の整備や労働安全衛生の方策を議論している。賃金労働条件は労使合意事項であり一方的な「取組方針」の策定や賃金センサスとの比較公表をさせない取組を基本組織と連携し進めていく。



「取組方針」の策定や賃金センサスとの比較公表をさせない取組を基本組織と連携し進めていく。職場活性化の議論から職の確立に向けて実践を行い、臨時・非常勤等職員や公共サービスを担う仲間の労働条件の底上げと組織化へ向けた取組を推進する。

議 長 野村 裕治 (札幌市職連)
副議長 稲田 浩平 (全道庁労連胆振)
事務局長 塚越 寛 (浜頓別町職)
事務局長 高橋真理子 (室蘭市職労)
事務局長 野城 執 (全道庁労連札幌)
事務局長 中村 健治 (道社協職組)
事務局長 大谷 英男 (札幌市職連)

青年部

安心して生活して働くために学習・交流・実践

安心して生活して働く続けるため「カンパロウ」をスローガンに終わりに青年部に結束し「学習・交流・実践」など、あらゆる闘争を仲間の声をもとにたたかうことを確認した。



「取組方針」の策定や賃金センサスとの比較公表をさせない取組を基本組織と連携し進めていく。職場活性化の議論から職の確立に向けて実践を行い、臨時・非常勤等職員や公共サービスを担う仲間の労働条件の底上げと組織化へ向けた取組を推進する。

議 長 渡邊 修吾 (釧路市役所労働組合)
副議長 齊藤 和也 (浦幌町職)
書記長 國島 秀和 (全道庁労連)

衛生医療評議会

「現場の問題意識」「交渉能力」がポイント

北海道は他府県より一歩進んだ公立病院の「自治体病院広域・連携構築」が示されている。組織強化の課題と政策に関わる危機意識をもち、中央本部を通じ国に意見反映することから、個別病院自体の組織強化が求められる。基本組織と連携を強化し「現場の問題意識」「厚い交渉能力」が今後重要ポイントとなる。道本部・地本衛生医療評議会と「公立病院改革対策本部」主催の会議を適時開催し、情報の提供・対策を進めていく。



「取組方針」の策定や賃金センサスとの比較公表をさせない取組を基本組織と連携し進めていく。職場活性化の議論から職の確立に向けて実践を行い、臨時・非常勤等職員や公共サービスを担う仲間の労働条件の底上げと組織化へ向けた取組を推進する。

議 長 武田 春人 (市立札幌病職労)
副議長 阿部 茂美 (市立旭川病職)
事務局長 竹末 真美 (中標津町労連)
事務局長 長谷部 修 (全道庁労連渡島)
事務局長 選考 中
事務局長 小林 一司 (市立苫小牧病職)
事務局長 石川 彰 (市立函館病職)

公共サービス民間労働協議会

自治体単組と連携して公正労働実現

道内の公共サービス民間労働組である。すべての仲間の雇用確保と、春闘期を過ぎても多くの単組が賃金労働条件改善をはかるため、公正労働のルールづくりに取り組む。委託業務を随時契約から競合地域で公共サービスを担っている労働者の組織化と責任ある地域公共サービスの実現・構築に力を貸していただきたい。



「取組方針」の策定や賃金センサスとの比較公表をさせない取組を基本組織と連携し進めていく。職場活性化の議論から職の確立に向けて実践を行い、臨時・非常勤等職員や公共サービスを担う仲間の労働条件の底上げと組織化へ向けた取組を推進する。

議 長 中村 博行 (亀田清掃労組)
副議長 中村 健治 (北海道社会福祉協議会職組)
事務局長 菊地 悟 (苫小牧振興公社労組)
事務局長 千葉 隆 (八雲厚生園労組)
事務局長 加納 達雄 (苫小牧社会福祉協議会労組)
事務局長 大出 彰良 (道本部)
事務局長 松岡 敏裕 (道本部)

消防職員協議会

団結権獲得に向け活動展開

消防行政は、国民生活の基盤である。自治労道本部、民主労北海道消防連と連携し、北海道の推進計画策定にあたり取組みを進めた。結果、一定の条件をつけさせることができ、今後は住民サービスの低下や職員の賃金労働条件が不利にならないよう引き続き連携し自治体に求めたい。



「取組方針」の策定や賃金センサスとの比較公表をさせない取組を基本組織と連携し進めていく。職場活性化の議論から職の確立に向けて実践を行い、臨時・非常勤等職員や公共サービスを担う仲間の労働条件の底上げと組織化へ向けた取組を推進する。

議 長 宮成 隆弘 (北見消防協)
副議長 近江 孝之 (小樽行政研究会)
事務局長 菊池 聡 (音威子府消防協)
事務局長 鎌田 常孝 (芦別消防協)

臨時・非常勤等職員連絡会議

同じ労働者として組織化へ協力を

臨時・非常勤等職員連絡会議で職員は年々増大し、自治体行政地域は、増え続ける非正規労働者の組織公共サービスを提供するには、欠く拡大、安定した雇用の継続と均等待遇を掲げて取組みを進めている。一方、臨時・非常勤等職員の法的あるいは行政上の位置づけが不明確で、不安定な雇用状態、業務に見合った処遇を受けていないのが実情である。



「取組方針」の策定や賃金センサスとの比較公表をさせない取組を基本組織と連携し進めていく。職場活性化の議論から職の確立に向けて実践を行い、臨時・非常勤等職員や公共サービスを担う仲間の労働条件の底上げと組織化へ向けた取組を推進する。

議 長 高野美枝子 (全道庁労連上川)
副議長 増田 光子 (札幌病職労)
事務局長 東 芳子 (札幌市労)
事務局長 松本 敦子 (札幌市職連)

